



平成 28 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 クラスタテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 安達 稔
(JASDAQ・コード番号 4240)
問合せ先 取締役管理本部長 稲田 盛一
(TEL 06 - 6726 - 2711)

減損損失の計上に伴う業績予想の修正に関するお知らせ

減損損失の計上に伴い、平成27年5月14日に公表した当期（第25期）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	710	△141	△138	△141	△ 24 83
今回修正予想 (B)	711	△92	△85	△203	△ 35 71
増減額 (B) - (A)	2	49	53	△62	
増 減 率	0.2%	- %	- %	- %	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	671	△120	△117	△380	△66 84

2. 当期の業績修正の理由

平成 27 年 5 月 14 日に公表いたしました当期（第 25 期）の業績予想の数値をふまえて、来期（第 26 期）以降の中期経営計画を検討・調整するなかで、取締役会におきまして誠に遺憾ながら来期（第 26 期）も赤字予算とせざるをえないとの判断に至りました。その結果、第 24 期、第 25 期および第 26 期の 3 期連続で営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなることから、監査法人とも協議のうえ、当期末をもちまして一部の固定資産について減損処理を行うことといたしましたので、当期の業績の修正をお知らせいたします。

具体的な来期予算の内容につきましては、国策として進めていた GaN（窒化ガリウム）半導体および SiC 半導体の量産化自体があまり進んでいないため高熱伝導性の絶縁材料の需要が高まらず、また「LED 用白色材料」についても顧客からの高輝度性能の要求水準が上がっており、ともに当期中には量産受注の成約に至らず、来期の受注見込額が減少しました。

以上の結果、一部の固定資産の簿価を 114 百万円切り下げ、特別損失に「減損損失」として計上する予定です。

なお、来期の業績予想値を含む中期経営計画は、平成 28 年 5 月 13 日に東京証券取引所に提出し、すみやかに当社HPに公表する予定です。

(注意事項)

当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績は当業績予想と乖離する可能性があります。

以上